

Data

監督・脚本: ランドール・ウォレス 原作: トッド・バーポ、リン・ビン セント『天国は、ほんとうに ある』(青志社)

出演:グレッグ・キニア/ケリー・ ライリー/コナール・コラム /レーン・スタイルス/トー マス・ハーデン・チャーチ/ マーゴ・マーティンデイル

ゆのみどころ

神の教えを伝えることを職業とする牧師サマだって、現実に天国を見たことはない。したがって、手術を終えて奇跡の生還を遂げた4歳の息子から「天国でイエス様に会ってきた」と言われても・・・。

さまざまに語られる「臨死体験」は裏付けがないが、この息子が語る言葉は、 父親の体験と合致していたから、アレレ・・・。そのうえ、ラストには、息子 と同じように天国に行ったという女の子が描いたイエス様の顔を見て、「これ がボクが天国で会ってきたイエス様の顔だ」と言われると・・・。

信じる、信じないは人の自由。しかし、4歳の子供の話でも、どこまで真剣 に向き合うかは大切な大人の義務。私はそう思うが、さてあなたは?

■□■牧師だって、こうなりゃ神サマに怒りを・・・■□■

牧師は神サマの役割を信者に伝えるのが仕事だが、4歳の愛する息子コルトン・バーポ (コナール・コラム) が急に穿孔 (せんこう) 虫垂炎で死にそうになれば、神サマに怒り をぶつけてもおかしくはない。本作の主人公トッド・バーポ (グレッグ・キニア) は、本 作の原作となった『天国は、ほんとうにある』の著者だが、彼は①牧師活動の他、②高校のレスリング部のコーチ、③市の消防隊員の役割もこなす、活動的な男だったから、神への怒りも生半可ではなかった。

トッドの怒りを神が受け容れたのかどうかは知らないが、同じように神に怒った教会の 役員の女性ナンシー・ローリング(マーゴ・マーティンデイル)の海兵隊の息子は神に召 されて戦死してしまったが、困難な手術を乗り越えてコルトンが奇跡の生還を遂げたのは ラッキー! そこまでなら、どこにでもある難病克服の美談にすぎないが、アレレ、すっかり元気になったコルトンの言葉を聞いていると・・・。



©2014 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved. 価格: ¥3,800+税

リリース日:2015年3月25日 (水) 発売・販売元:(株) ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

■□■奇跡の生還を果たした4歳の息子の言葉に、アレレ■□■

私はタランチュラ(クモの一種)は大嫌いで、見るだけでも気持が悪くなってくるが、 アメリカの多くの子供たちもそれは同じらしい。したがって、コルトンが穿孔虫垂炎にか かって高熱と嘔吐をくり返す直前、妻のソーニャ・バーポ(ケリー・ライリー)、姉のキャ

シー・バーポ(レーン・スタイルス)を含め、 家族4人で旅行に行ったデンバーの遊園地では、 タランチュラに触れる勇気のある子にはご褒美 としてワッペンが与えられていた。

ところが、その時は怖がってタランチュラに触れることができなかったコルトンが、奇跡の生還を果たした後は、再びデンバーに行くことをせがみ、今度は堂々とタランチュラにタッチ。しかも、コルトンはあの時に神に怒りをぶつけていた父親の姿や、街のすべての人々にコルト



©2014 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved. 価格:¥3,800+税 リリース日:2015年3月25日(水) 発売・販売元:(株) ソニー・ピクチャーズ エンタ

テインメント

ンのために祈りを捧げてくれと泣きながら電話で訴えていた母親の姿をまるで見ていたように次々と語ったから、アレレ・・・?しかも、「なぜそれを知っているの?」と恐る恐る尋ねるトッドに対して、コルトンはあっけらかんと「天国で見ていたから」と答えたから、牧師ながらまだ実際に天国を見たことのないトッドはアレレ・・・。こりゃ、あらためて息子に天国は本当にあるの?そう聞かなくちゃ・・・。

■□■牧師としての「説教」の内容は、どうあるべき?■□■

臨死体験を語る人はたくさんいる。また、そこで見た数々の奇妙なストーリーや自分自身の体験を語る人もいる。しかし、それは語る本人しかわからない話だから、いくらそれを聞いても聞かされた側はついホントかな?と思ってしまうのは当然だ。ところが、コルトンが語る話はトッドが現実に体験したことと一致していたから、こりゃいくら4歳の子



©2014 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved. 価格:¥3,800+税、リリース日:2015年3月25日(水) 発売・販売元:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント 供の話といえども傾聴に値するもの。そこで、トッドは日曜日の教会での説教の時間にそんな話をしたが、これはそれまでトッドの説教を楽しみに聞いていた信者たちには評判が悪いらしい。だって、トッドの話はコルトンとトッドにはわかっても、他の信者にはそれってホントかな?と思う話ばかりなのだから・・・。

その結果、トッドの説教のあり方をめぐって教会の運営責任者ジェイ・ウィルキンス (トーマス・ハーデン・チャーチ) やナンシーとの間に「対立」が生まれたが、それを受けて、トッドは説教の方針を転換していくの?そんな悩みを抱きつつトッドがコルトンと接していると、コルトンは今度は天国でおといちゃんと会ってきたと

話したから、トッドはビックリ。そこでメガネをかけたおじいちゃんの写真をコルトンに見せ、「おじいちゃんはこんな顔だった?」と聞くと、コルトンの答えは「ちがう。メガネなんかかけてなかった」と答えるからさらにビックリ。そこで、物置をひっくり返して見っけ出した、若い頃のおじいちゃんの写真をコルトンに見せると・・・。

■□■マスコミ取材が過熱すると・・・?牧師の選択は?■□■

本作が描く時代は20 03年。舞台はアメリカの ネブラスカ州。リーマンショックがアメリカを襲っ たのは2008年だから、 2003年のアメリカは 経済不況の時代ではない。 しかし、インペリアル市という小さな町でプロテスタント教会の牧師をしているトッドの生活は、小さな修理工場も営み、日々人一倍働いていながらかな



©2014 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved. 価格:¥3,800+税 リリース日:2015 年 3 月 25 日(水) 発売・販売元:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

り苦しそう。それでも妻のソーニャは、現金の代わりに教会で使うカーペットをもらったからと弁明する(?) 夫を赦していたが、ローンの支払い、光熱費の支払い、コルトンの病院代の支払いまで切羽詰まってくると、つい夫に対して「天国の有無より、現実を見てくれ!」と叫ぶことになったのはやむをえない。しかし、日々コルトンとのやりとりを続けているトッドにとって、コルトンの言葉が信用に値すると思えば思うほど悩みは大きくなっていった。

そんな状況下でのマスコミの取材攻勢はプラス面とマイナス面の両方がある。そして、教会がそんなマスコミ攻勢の嵐にさらされると、教会に集う信者たちの賛否両論の声も次第に激しいものに。しかして、今日のトッドの説教はどうするの?その結果如何によっては、次の牧師に来てもらうことが決定してしまうが、それでもなお、トッドはコルトンが見てきた天国の話を題材とした説教をするの?日曜日ごとの礼拝や、教会で牧師の説教を聞く習慣がない日本では、本作がみせるそんなトッドの苦悩はわかりにくいが、そこでのトッドの説教に注目したい。

■□■イエス様のお姿は?見た者同士が一致すると・・・■□■

イエス・キリストの顔については、当時の弟子たちは直接見ているが、21世紀を生き

る私たちは多くの絵画に描かれてい る姿でしか観たことがない。しかし、 実際に天国に行き、イエス様に会って きたというコルトンに聞けば、イエス の顔立ちはわかるはず。ところが、残 念ながらまだ4歳のコルトンの表現 能力は十分ではなかったから、イエス 様の姿は十分に伝わらなかった。しか し、本作ラストには、コルトンと同じ ように天国でイエス様に会ってきた という、絵心のあるリトアニアの少女 がキャンバスに描いたイエスの顔が 登場する。そして、それをパソコンの 画面上で観たコルトンが、「これが僕 の会ってきたイエス様だ」と叫んだか らすごい。

『サン・オブ・ゴッド』(14年)で見たポルトガル人の俳優ディオゴ・モルガド演じるイエス・キリストは、「イケメンすぎる」との批判を受けたそうだが、本作にみるイエス様もかなりのイケメン。大人だってさまざまな夢を見るし、人間はいろいろなこ



o2014 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved. 価格: ¥3,800+税 リリース日:2015年3月25日(水) 発売・販売元:(株) ソニー・ピクチャーズ エンタ テインメント

とを想像する動物。そして、映画はまさにそんな「想像」を基に成り立っている芸術だ。ましてや、純真な心を持った子供たちは聞いたこと、経験したことに想像力を付加しているいろと表現するから、何が現実で何が想像かの線引きが不明確になることがある。コルトンの話を真正面から受け止めるトッドに対して、妻のソーニャはそう反論していた。本作のパンフレットには、新藤純子氏の「天国とはおそらく、私たちの身近にある至福の瞬間とつながる何かなのかもしれない」と題する作品評があり、そこでは本作の結論と同じように、「天国とはおそらく、私たちの身近にある至福の瞬間とつながる何かなのかもしれない」とまとめられている。しかし、これは、私に言わせれば、ちょっとキレイにまとめすぎ。さて、あなたはコルトンの話を信じる?それとも信じない?そして、あなたにとっての天国とは?

2015 (平成27) 年1月7日記